

## 令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名: 小規模多機能ホーム陽だまりの郷 )

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	関わる人みんなが笑顔になれる日本一幸福を感じられる小規模多機能ホーム	令和5年度の具体的な方針	業務の標準化と効率化を図り、できた余剰時間でOJTを行い介護力の向上を目指します
------------	------------------------------------	--------------	--

(全体総括)

令和5年度は、春から徐々に稼働率の増加に繋げていったが、1月から利用終了者が増えている。特にグループホームへスライドの入居が多く、次いで、かおる園への入所となっている。医療からの紹介でサービス利用に繋がる場合は、体調が戻らず再入院になってしまい利用期間も短い。ご家族は病院から施設ではなく、少しでも住み慣れた自宅に戻したいという気持ちから、生活リハビリを希望されており意欲向上のための役割づくりをチームで検討している。宿泊サービスに関しては、長期で1名利用し、その他週固定3名と不定期で2名となっている。包括からの紹介は要支援や要介護1の軽度者が多く収入増加には繋がらないが、定期的な介護度の見直しやサービス調整で、不安が少なく利用してもらえるようにサービスを柔軟にしていきたい。また、元気な在宅生活が送れるように、体力測定を行い個別機能訓練の実施や、認知症の簡易検査で、進行の状態や苦手な部分を早期に見つけ、適切な支援につながるように、医療への情報提供の資料としても活用していく。ご家族が「安心して利用できる」と感じてもらえるような関係性をつくり、利用者の楽しみへの1つとして、サークル活動を開始する。また、訪問のみの利用者には、活動の様子を毎月のお便りで伝え「たまには遊びに行こうかな。」と思えるような関係性を築き、質の向上に結び付けていきたい。

項目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	仲間が増えることで役割分担が明確に行える	陽だまりの郷のサービスを利用したら家での生活が続けられると見えるサービスを受けることができる	今期売上予算・利益予算の達成
KPI 重要業績評価指標	職場満足度85%	要介護度の維持 在宅生活継続90%	売り上げ82,266,000円 利益187,000円 稼働率98%
達成方法 KPI達成に向けたプロセス	・職員育成計画の実行 ・業務内容の見直しと、個別業務の時間作りで、時間外の負担を減らす仕組みづくりを行う	・利用者個々の心の弾みになるサービス(毎月の希望サービス)を全員分達成	・人員不足を解消し登録定員29人/29人 ・待機者の確保 ・日々の健康管理(入院回避)
結果	・職場アンケート満足度70% ・介護福祉士1名合格 ・パート職員2名が勤務時間の延長や変則勤務に入っている。パート職員にも担当業務を分担する事で、負担の偏りを減らし、時間外の減少や業務への理解を深めている。	・入院者1月1名 ・平均介護度1.4 ・個別の握力、反射測定で立ち上がりや躊躇による転倒は減っている。 ・地域に知ってもらうための作品つくりを行っている。	・包括や初期集中支援チームから紹介もあったが、施設や医療機関への入所等で稼働は減っている ・年間売上79,321,023円 ・利用者延べ人数84名 ・1月～3月稼働率93% ・年間稼働率95.6% ・登録定員3月末時点29/25人
次年度へ向けて	・職員間で同じ意識を持って業務に関わるように、情報の共有を優先すると共に、苦手意識の改善と、その人の得意なことを発揮できるような活動を増やす。そのためには会議やミーティングで発言しやすい雰囲気作りと定期的な面接で困りごとの解消に努め、離職ではなく、別の働き方への調整を行う。	・外出の機会を増やし、地域とのかかわりを持つ。(公園のごみ拾いやお祭りなど) ・昔馴染みの場所や思い出の場所へ出掛けることで、意欲の向上に繋げ、食欲の増加や下肢筋力の維持に繋げる。 ・家族の介護負担の軽減と、楽しい思い出が記憶に残るよう、泊りサービスのイベント化や外出の情報提供を増やしていく	・一人暮らしや高齢者世帯の利用が増え、退院後からの利用開始で、在宅か施設入所の検討も行われている。デイサービスだけではなく、傾聴や作品作りの訪問で関りを増やしていく。

## 【運営報告】

事業所名：小規模多機能ホーム陽だまりの郷

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		870	899	870	899	899	870	899	870	899	899	812	899	10,585
延利用人数	R4	810	899	870	855	780	770	837	806	777	775	756	810	9,745
	R5	810	868	817	837	888	830	881	842	868	890	829	806	10,166
稼働率	R4	93.1%	100.0%	100.0%	95.1%	86.8%	88.5%	93.1%	92.6%	86.4%	86.2%	93.1%	90.1%	92.1%
	R5	93.1%	96.6%	93.9%	93.1%	98.8%	95.4%	98.0%	96.8%	96.6%	99.0%	102.1%	89.7%	96.1%
事業活動収入計	R4	6,717	7,994	7,356	7,841	6,982	5,863	7,203	5,916	6,913	7,012	6,300	7,395	83,491
	R5	6,791	6,923	6,828	6,635	7,231	6,879	6,523	6,205	6,562	6,528	6,165	6,047	79,317
当期資金収支差額		-14	-252	613	-90	394	-12	-406	-775	-454	-426	-580	5,517	3,514
職員数	40時間	10	10	10	10	10	10	11	12	12	12	11	10	-
	パート	6	6	4	4	5	8	6	6	7	7	7	6	-

## 会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
陽だまりの郷 リーダー会議	2/13	施設長・係長・鍵 市主任・古瀬主任・後藤介護員	予算、職員体制について、人事評価について、電気代金、水道代金、残業時間報告、係委員会、ユニットからの報告について、その他報告事項
陽だまりの郷 リーダー会議	3/22	施設長・係長・鍵 市主任・古瀬主任・後藤主任	ユニット体制について、事業計画について、次年度の予定。人事評価、電気代金、水道代金、残業時間報告、係委員会、ユニットからの報告について、その他報告事項
たんぽぽユニット会議	1/29	係長、主任、小池、植木、前田、渋谷、古千、禎島、今田、河村、稻垣、神尾	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
たんぽぽユニット会議	2/20	係長、主任、小池、植木、前田、渋谷、古千、禎島、河村、稻垣、神尾、熊谷	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
たんぽぽユニット会議	3/21	係長、主任、小池、前田、渋谷、古千、禎島、今田、河村、稻垣、神尾、熊谷	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
花チーム会議	1/18	係長、植木、禎島看、古瀬千、今田、河村、神尾	先月の目標・振り返りと今月の目標とそれに向けた取り組み、地域・医療の関り
夢チーム会議	1/23	渋谷、前田、古瀬健、小池、稻垣	先月の目標・振り返りと今月の目標とそれに向けた取り組み、地域・医療の関り
花チーム会議	2/23	係長、植木、禎島看、古瀬千、今田、河村、神尾	先月の目標・振り返りと今月の目標とそれに向けた取り組み、地域・医療の関り
夢チーム会議	2/14	渋谷、前田、古瀬健、小池、稻垣	先月の目標・振り返りと今月の目標とそれに向けた取り組み、地域・医療の関り
花チーム会議	3/16	係長、禎島看、古瀬千、今田、河村、神尾	先月の目標・振り返りと今月の目標とそれに向けた取り組み、地域・医療の関り
夢チーム会議	3/20	渋谷、前田、古瀬健、小池、稻垣	先月の目標・振り返りと今月の目標とそれに向けた取り組み、地域・医療の関り
運営推進会議	3/22	委員様7名 施設長、係長、鍵 市、後藤、古瀬	運営状況報告、各ユニットからの報告、小規模多機能ホーム自己評価、グループホーム自己評価

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
食事係	1/10	施設長、前田、杉原	喫茶レクの計画、献立とメニューについて、発注について、その他
食事係	2/6	施設長、前田、杉原	献立について、3月からのロカルの定期便回数と内容について
食事係	3/20	施設長、今田、杉原、山口	献立について、発注とメニューについて、年度反省と次年度の計画について
感染委員会	1/11	係長、禎島看護師、伊藤	12月の感染状況について、感染対策について、係長、施設長から、風邪の流行について、その他
感染委員会	2/9	係長、禎島看護師、渡辺、平川	1月の感染状況について、感染対策について、係長、施設長から、その他
感染委員会	3/14	係長、禎島看護師、伊藤	2月の感染状況について、感染対策について、係長、施設長から、コロナ・インフル対応について、感染予防について、次年度の計画と今年度の反省、その他
車両防災委員会	1/30	鍵市、植木	内部研修予定についての内容を検討、各車両について、防災物品について、車庫の照明について
車両防災委員会	2/25	鍵市、植木	内部研修予定についての内容を検討、各車両について、防災物品について、冬期間雪道の車両事故の検証について、その他
車両防災委員会	3/28	鍵市、植木	年度反省と次年度の計画について、各車両について、防災物品と防災計画について、車両事故の検証、研修の振り返り
互助会	2/20	施設長、高橋良、小池、山口	令和5年度食事会計画、次年度の予定など
互助会	3/7	施設長、高橋良、小池、山口	令和6年度食事会計画、次年度の予定など、今年度の反省、その他
備品係会議	2/28	係長、後藤、古瀬千、得能	衛生用品の発注について、物品発注について施設内の環境整備について
備品係会議	3/16	係長、後藤、古瀬千、得能	今年度の反省と次年度の計画、花壇整備について
リスクマネジメント委員会	1/5	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	12月事故とヒヤリハット検証、冬期間の転倒事故リスク、車両事故など
リスクマネジメント委員会	2/11	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	1月事故とヒヤリハット検証、内部研修検討と、アンケート集計
リスクマネジメント委員会	3/29	係長、古瀬、吉田、鍵市	2月事故とヒヤリハット検証、内部研修反省と、
身体拘束適正化虐待防止委員会	1/5	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	アンケート内容の確認と内部研修について
身体拘束適正化虐待防止委員会	2/11	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	3月内部研修についての内容を確認
身体拘束適正化虐待防止委員会	3/29	係長、古瀬、吉田、鍵市	年度反省と次年度の計画について

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：小規模多機能ホーム 陽だまりの郷

研修

令和5年度（1月～3月） 行事

事業所名： 小規模多機能ホーム 陽だまりの郷

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
新年会	1/11 1/12	41名	利用者26名 職員15名
節分	2/1 2/2	39名	利用者25名 職員14名
バレンタインレク	2/12 2/13	34名	利用者24名 職員10名
喫茶レク	2/13	18名	利用者12名 職員6名
ひな祭り	2/29 3/1	38名	利用者25名 職員13名
開所記念式	3/28	34名	利用者24名 職員10名

## 令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：グループホーム陽だまりの郷)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	関わる人みんなが笑顔になれる日本 —幸福を感じられるグループホーム	令和5年度の 具体的な方針	業務の標準化と効率化を図り、でき た余剰時間でOJTを行い介護力の向 上を目指します
------------	--------------------------------------	------------------	--

(全体総括)

令和5年度は、入居者の入れ替わりが例年にはない6名という人数で、特にあじさいユニットの体調不良での入退去が多かった。また、職員の退職もあり求められるケアと提供するケアの質に差が生じていた。次年度はその差を埋めていく為の職員育成、チームワークが大きく求められる。収入に関しては、あじさいで入院人數が多く、稼働が上がらず数字が伸びなかつた。その為次年度は入院をしない健康づくりや、医療職と連携を行い、予防の観点からもサポートできる支援体制を構築していきたい。

項目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	仲間が増えることで役割分担 が明確に行える	認知症の進行を維持向上し、 年齢を重ねても自分ることは 自分でできる	今期売上予算・利益予算の達成
KPI  重要業績 評価指標	・職場満足度85%	・要介護度の維持  自力歩行：18名/18名	・稼働率 100% ・売上合計 85,278,000円
達成方法  KPI達成に 向けた プロセス	・求人採用、育成計画の実行 ・業務の可視化と役割分担が明 確になる仕組みづくりを行う	・利用者個々の総合シート記 載「私の声・思い」がケアアプ ランに反映され、笑顔で健康 的な生活を送ることで長生き できる ・腸が喜ぶ食事の提供と腸活 の実施	・入退去時のインターバル短 縮 ・感染予防 ・入院をしない健康作り
結果	・職場アンケート 満足度76.25% 自己成長では点数が高いが職 場環境と、仕事内容に関して は、低い数値となっている。 (未提出3名) ・令和5年度 離職者6名 入職者4名	・私の声・想いについて 思いの実現12/18名 ・介護度3.7 ・平均年齢91歳 ・毎月、栄養士が食事に取り 入れている ・自力歩行は13名/18名	・今年度はあじさいの入院が 多く稼働が下がってしまう。 大きな疾患での退居に繋がる 入院が増えている。また、繰 り返す持病による入院も多 かつた。 ・G H年間平均稼働率95% ・売上合計 83.349.956円
次年度へ 向けて	職員間の輪を強めるようなイ ベントを実施しながら更に チーム力をプラスにしていき たい。また、職員育成では中 堅職員の質を豊かにする仕組 み作りを行いたい。離職者に ついては辞めずに働く職場 環境作りを進めていく	認知症のケアについては、職 員から、ケアの対応の難しさ や、不安などの声もあり職員 の対応力を強化することが次 年度は求められる。自力歩行 が指標になっているが入居者 の入れ替わりで指數が変化し ていた。	90代の方の体調不良が続いて しまい、虚弱な方への支援や 医療との連携がさらに次年度 は必要となる。次年度は口腔 ケアにも力を入れて対応して いきたい

## 【運営報告】

事業所名：グループホーム陽だまりの郷

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558	6,570
延利用人数	R4	538	547	537	520	525	510	549	540	514	542	504	548	6,374
	R5	531	550	497	542	553	488	527	491	493	534	489	549	6,244
稼働率	R4	99.6%	98.0%	99.4%	93.2%	94.1%	94.4%	98.4%	100.0%	92.1%	97.1%	100.0%	98.2%	97.1%
	R5	98.3%	98.6%	92.0%	97.1%	99.1%	90.4%	94.4%	90.9%	88.4%	95.7%	97.0%	98.4%	95.0%
事業活動収入計	R4	7,018	7,033	7,019	6,831	6,870	6,702	7,349	7,241	6,984	7,458	6,647	8,493	85,646
	R5	7,041	7,106	6,708	7,108	7,294	6,732	7,029	6,592	6,608	7,133	6,488	7,526	83,364
当期資金収支差額		-1,663	-2,280	-2,359	-2,239	-1,170	-1,140	-1,354	-1,704	-1,764	-1,335	-1,331	5,539	-12,799
職員数	40時間	13	14	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	-
	パート	7	7	7	7	6	6	7	7	7	7	7	6	-

## 会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
陽だまりの郷 リーダー会議	2/13	施設長・係長・鍵 市主任・古瀬主任・後藤介護員	予算、職員体制について、人事評価について、電気代金、水道代金、残業時間報告、係委員会、ユニットからの報告について、その他報告事項
陽だまりの郷 リーダー会議	3/22	施設長・係長・鍵 市主任・古瀬主任・後藤主任	ユニット体制について、事業計画について、次年度の予定。人事評価、電気代金、水道代金、残業時間報告、係委員会、ユニットからの報告について、その他報告事項
さくらユニット会議	1/26	施設長、主任、得能、山口、吉田、渡辺、佐藤綾	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
さくらユニット会議	1/27	施設長、主任、得能、山口、吉田、佐藤綾 佐藤久	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
さくらユニット会議	3/27	施設長、主任、得能、山口、吉田、吉井、佐藤綾	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
あじさいユニット会議	1/30	施設長、主任、高橋良、後藤、瀧谷、平川、長面川、高橋ゆ、三	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
あじさいユニット会議	2/27	施設長、主任、高橋良、後藤、瀧谷、平川、伊藤、長面川、高橋ゆ、	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
あじさいユニット会議	3/22	施設長、主任、高橋良、後藤、瀧谷、平川、長面川、高橋ゆ、杉原	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメーバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
運営推進会議	3/22	委員様7名安藤課長、施設長、係長、鍵市、後藤、古瀬	運営状況報告、各ユニットからの報告、小規模多機能ホーム自己評価、グループホーム自己評価

## 委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
食事係	1/10	施設長、前田、杉原	喫茶レクの計画、献立とメニューについて、発注について、その他
食事係	2/6	施設長、前田、杉原	献立について、3月からのロカルの定期便回数と内容について
食事係	3/20	施設長、今田、杉原、山口	献立について、発注とメニューについて、年度反省と次年度の計画について
感染委員会	1/11	係長、禎島看護師、伊藤	12月の感染状況について、感染対策について、係長、施設長から、風邪の流行について、その他
感染委員会	2/9	係長、禎島看護師、渡辺、平川	1月の感染状況について、感染対策について、係長、施設長から、その他
感染委員会	3/14	係長、禎島看護師、伊藤	2月の感染状況について、感染対策について、係長、施設長から、コロナ・インフル対応について、感染予防について、次年度の計画と今年度の反省、その他
車両防災委員会	1/30	鍵市、植木	内部研修予定についての内容を検討、各車両について、防災物品について、車庫の照明について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
車両防災委員会	2/25	鍵市、植木	内部研修予定についての内容を検討、各車両について、防災物品について、冬期間雪道の車両事故の検証について、その他
車両防災委員会	3/28	鍵市、植木	年度反省と次年度の計画について、各車両について、防災物品と防災計画について、車両事故の検証、研修の振り返り
互助会	2/20	施設長、高橋良、小池、山口	令和5年度食事会の計画、次年度の予定など
互助会	3/7	施設長、高橋良、小池、山口	令和6年度食事会計画、次年度の予定など、今年度の反省、その他
備品係会議	2/28	係長、後藤、古瀬千、得能	衛生用品の発注について、物品発注について施設内の環境整備について
備品係会議	3/16	係長、後藤、古瀬千、得能	今年度の反省と次年度の計画、花壇整備について
リスクマネジメント委員会	1/5	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	12月事故とヒヤリハット検証、冬期間の転倒事故リスク、車両事故など
リスクマネジメント委員会	2/11	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	1月事故とヒヤリハット検証、内部研修検討と、アンケート集計
リスクマネジメント委員会	3/29	係長、古瀬、吉田、鍵市	2月事故とヒヤリハット検証、内部研修反省と、
身体拘束適正化虐待防止委員会	1/5	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	アンケート内容の確認と内部研修について
身体拘束適正化虐待防止委員会	2/11	施設長、古瀬、吉田、瀧谷	3月内部研修についての内容を確認
身体拘束適正化虐待防止委員会	3/29	係長、古瀬、吉田、鍵市	年度反省と次年度の計画について

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：グループホーム 陽だまりの郷

研修

令和5年度（1月～3月） 行事

事業所名：グループホーム 陽だまりの郷

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
初詣ドライブレク	1/2	11名	職員3名 入居者8名
新年会	1/12	25名	入居者18名 職員7名
節分レク	2/11	24名	入居者17名 職員7名
喫茶レク	2/13	20名	入居者14名 職員6名
ドライブ外食レク	2/27	8名	入居者6名 職員2名
ひな祭りレク	3/3	24名	入居者17名 職員7名
開所記念式	3/28	25名	入居者18名 職員8名

## 令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名:放課後等ディサービスきっずでいここ)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	「将来の夢は社長になる」 10年先の日本の貴重な人材を育成します	令和5年度の 具体的な方針	専門職だけに頼らず、自ら専門的な分野の学習やAI技術を活用しながら自分たちでさらなる付加価値をつけ家族から「現場の先生たちのアドバイスを直接聞きたい」となることを目指す
------------	-------------------------------------	------------------	--

(全体総括)

第4期では前期のアンケート結果に基づき、療育内容の一部変更や新年度に向けたクラス編成及び試験的に新しいクラスの体験などを実施した。

並行して、待機児童の新規利用開始も進め、2名の新規利用開始に繋げることが出来た。

次の年度では療育内容をさらに強化し「待機児童〇」を目指して取り組みを実施する。

項目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	スキルアップや時間効率化によって「自分たちで出来る」と自信がつく	保護者さんも一緒に学べる機会や療育内容を知れる機会が増える	稼働日と受入れ範囲の拡大により今期売上予算・利益予算の達成を目指します
KPI 重要業績評価指標	①自閉症スペクトラム支援士 STANDARD 1名 ②児童発達支援士 1名 ③子ども発達障がい支援 アドバイザー 1名 ④作業療法士以外の視点を盛り込んだ計画作成	顧客満足度前年比+20%	年間事業収入 26,100,000円  平均 2,175,000円／月
達成方法 KPI達成に向けたプロセス	認定資格試験合格 chat GPTの活用による業務効率化	アンケート調査（個別課題・SST） 茶話会（保護者学習会） 家族との共同運営イベントの実施	土曜日稼働の検討 中高生の受け入れ拡大 地域ボランティアとのイベント開催
結果	児童発達支援士 1名受講開始	顧客満足度前年比+13%	1月 2,069,020円 2月 2,054,190円 3月 2,033,050円
次期へ向けて	個別支援計画の内容変更の検討	記録のデータ化の検討 茶話会の実施 保護者学習会の検討	オンライン療育の検討 土曜日を活用した中高生の療育の検討

## 【運営報告】

事業所名： きつずでいここ

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		263	287	275	263	275	263	275	275	250	250	250	263	3,189
延利用人数	R4	195	216	215	196	160	175	219	206	203	178	183	207	2,353
	R5	208	219	226	215	202	224	212	200	208	189	197	181	2,481
稼働率	R4	74.1%	75.3%	78.2%	74.5%	58.2%	66.5%	79.6%	74.9%	81.2%	71.2%	73.2%	78.7%	73.8%
	R5	79.1%	76.3%	82.2%	81.7%	73.5%	85.2%	77.1%	72.7%	83.2%	75.6%	78.8%	68.8%	77.8%
事業活動収入計	R4	2,082	2,241	2,317	2,275	1,714	1,872	2,335	2,277	2,173	2,106	1,948	2,342	25,680
	R5	2,223	2,300	2,159	2,489	2,347	2,356	2,228	2,121	2,258	2,069	2,054	2,017	26,621
当期資金収支差額		332	340	190	195	226	262	18	52	3	-1	523	523	2,662
職員数	40時間	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-
	パート	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-

## 会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
体験者受入れ会議	1/6	吉田、高山、加藤、仲村	・現在利用申込を受けている方の情報共有 ・体験日時、受け入れクラスの検討
来年度に向けての会議	1/20	吉田、高山、加藤、仲村	・現段階で体験が終了した方の受け入れ検討 ・次年度クラス編成の検討。仮決定
年度末最終会議	3/29	吉田、高山、加藤、酒井、山本、廣田、仲村	・次年度のクラス編成共有 ・1年の中で感じた事、共有したい事各職員から報告 ・4月から変わる内容の周知、共有
花月リーダー会議	1/23	古島、仲村、（小林孝弘、小林洸一、澤田）	・今月の各部署の状況報告 ・施設長からの報告、確認事項共有
花月リーダー会議	2/23	古島、仲村、（小林孝弘、小林洸一、澤田）	・今月の各部署の状況報告 ・施設長からの報告、確認事項共有 ・次年度の体制について
花月リーダー会議	3/29	古島、仲村、（小林孝弘、小林洸一、澤田）	・今月の各部署の状況報告 ・施設長からの報告、確認事項共有 ・次年度の体制について（特定技能実習生の事も含め）

## 委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症委員会	1/24	吉田、高山、仲村	・現在の市町村でのコロナ、インフルエンザ感染症の状況確認 ・利用者様、職員での感染状況確認 ・施設として対策できる事の検討
苦情対策委員会	1/24	吉田、高山、仲村	・今月の苦情件数確認 ・苦情として過去に発生した事例の確認 ・苦情を受け付ける窓口の確認
事故防止委員会	1/24	吉田、高山、仲村	・今月の事故件数確認 ・事故として過去に発生した事例の確認 ・事故やヒヤリハットが起きた時の対応の流れ確認
虐待防止委員会	1/24	吉田、高山、仲村	・今月の虐待件数確認 ・虐待に繋がらないためにどのようなことが必要なのかを検討

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：きっずでいここ

研修

令和5年度（1月～3月） 行事

事業所名： きつずでいここ

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
茶話会	2/24	15名	ご家族様 7名 職員 7名 講師 1名

## 令和5年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：生活介護事業所ひかり)

(令和5年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	レパートリーは100個以上！！ 世界に1つしかないオリジナルプランを提供します	令和5年度の 具体的な方針	1日中iPadなどの自由時間ではなく お仕事などの「生産活動」に重点を 置き1人1人が「なぜここに通つてく るのか」という目的を明確にしま す。 個々の価値観ではなく「アセスメン ト」を根拠にして課題を見立てられ る人材を作ります。
------------	--	------------------	---

(全体総括)

第4四半期では「新しい仕事の発掘」に重点を置いた取り組みを進めた。

その中で新たに1名の方に新しいお仕事が定着した。

次期ではこのような成功例から上手く行った理由や今後の可能性などを共有する機会を設けながら1人でも多くの方に新しいお仕事を提案、定着させていきたい。

項目	仲間の視点	お客様の視点	ビジネスの視点
運営方針	いろんな事業所を見たり学習の場の拡大により「やりがい」に増える	「人から与えられる楽しみ」から「自分で選ぶ楽しみ」が増える	稼働日と新規利用者の拡大により今期売上予算・利益予算の達成できる
KPI 重要業績評価指標	職員満足度前年比+20%	顧客満足度前年比+20%	年間事業収入 104,000,000円 8,666,666円/月平均
達成方法 KPI達成に 向けた プロセス	①事業所視察 ②外部・内部研修	①和紙活動の拡大 (名刺・はがき・ミニレ ター) ②イベント・ネットでの販売 の確立 ③新しい仕事の発掘 (農家さんなどの地域活 動) ④地域ボランティアの充実	①通所出来ていない方の通所 再開 ②土曜開所の検討
結果	職員満足度前年比+9%	顧客満足度前年比+8%	1月 8,436,182円 2月 8,220,458円 3月 8,912,366円
次期へ向けて	事業所視察（5月） 強度行動障害研修（6月）	成功例の共有会議の開始 ミーティング内容の再検討	通所が出来ていない人の通所 の検討  新規利用者の獲得

## 【運営報告】

事業所名：生活介護事業所 ひかり

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数 (125%)		1,078	1,127	1,078	1,127	1,127	1,078	1,127	1,078	1,127	1,127	980	1,127	13,181
延利用人数	R4	980	984	1,001	1,035	943	817	852	894	807	752	852	881	10,798
	R5	764	843	860	827	820	759	860	864	844	821	805	838	9,905
稼働率	R4	90.9%	87.3%	92.9%	91.8%	83.7%	75.8%	75.6%	82.9%	71.6%	66.7%	86.9%	78.2%	82.0%
	R5	70.9%	74.8%	79.8%	73.4%	72.8%	70.4%	76.3%	80.1%	74.9%	72.8%	82.1%	74.4%	75.2%
事業活動収入計	R4	10,396	10,693	10,943	9,781	8,892	8,885	9,017	9,116	8,801	-9,368	-9,300	124,557	192,413
	R5	8,539	8,843	8,864	8,881	8,914	8,127	8,952	8,748	8,760	8,436	8,220	8,912	104,197
当期資金収支差額		2,895	1,380	3,287	2,432	3,104	2,589	2,762	2,504	2,097	1,883	3,167	7,397	35,497
職員数	40時間	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	-
	パート	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	1	-

## 会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
プラン会議	1/12	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	利用者のプラン更新に関する協議
部門会議	1/19	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	採算改善、感染症委員会、苦情・虐待・身体拘束廃止委員会、ヒヤリ・事故再発防止委員会、その他
プラン会議	2/9	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	利用者のプラン更新に関する協議
部門会議	2/16	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	採算改善、感染症委員会、苦情・虐待・身体拘束廃止委員会、ヒヤリ・事故再発防止委員会、その他
プラン会議	3/9	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	利用者8名のプラン更新に関する協議
部門会議	3/15	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	採算改善、感染症委員会、苦情・虐待・身体拘束廃止委員会、ヒヤリ・事故再発防止委員会、その他
活動室会議	3/22	岡本、河村、本田、新谷、板橋、山本、倉田、高橋、泉谷	各活動室の課題・改善策など

## 委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題

令和5年度（1月～3月） 研修

事業所名：生活介護事業所 ひかり

研修